

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200418
事業所名	グループホーム ちから館とくがわ

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し、盆踊りや運動会に招待され出かけている。1階の会議室は社会福祉協議会の月1回のイベントに提供している。また、会議室をカフェとして近隣の方と入居者、家族との交流の場としている。地域包括支援センターと協働で2月に「認知症サポーター養成講座」を会議室で開催することが決定している。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	民生委員、区政協力委員、町内会役員、老人クラブ代表職員をメンバーとし、今年も6回開催された。4月には地域包括支援センター職員も参加した。継続的にホーム行事や外部評価、職員異動等について報告し、議事録は事務所で公開している。社会福祉協議会とのパイプ役を担ってくれたメンバーの力添えにより、会議室を月1回イベントに提供するようになった。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	行政への連絡は管理者が行い、不明な点があると電話や訪問して介護課で確認している。地域包括支援センターとは認知症サポーター養成講座を協働して開催したり、職員を講師として派遣している。また、社会福祉協議会とはイベントに会場を提供したり、ボランティアの方が作った雑巾を頂いたりしている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	年2回家族会を実施している。また、月1回のカフェにも家族が参加している。ホーム便りは毎月発行し郵送され、「写真入りでホームの様子がよくわかり、安心できる」と家族にも好評である。家族は訪問時に管理者や担当者に要望を伝え、会議で話し合い対応している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。